

シスターが
踊っていたという
噂の店に来たが…

あの清楚な
シスターが

噂は噂…

そういう
ことだよな

踊り子たちの
中にシスターは…

…やっぱり
いないか

噂を
信じてたよ…

かッ

…ん?

自己嫌悪…

そろそろ
サービスタイム
ですけど…

『お手伝い』は
必要ないですか？

!?

なっ…
なななっ…

ステージの『上』は
目立っちゃうけど…

それなら
『下』で稼げば
問題ないわよね♡

「もうこんなに大きく
なっちゃってますね……♡」

（ま、まさか
シスターがテーブルの
下にいたなんて……）

（あの噂は本当
だった……）

（いや、この状況は
噂を軽く越してる……）

ドキ
ドキ

ドキ
ドキ

むにゅ：〜

「時間いっぱいた〜つぷり
『お手伝い』しますから…」

「気持ちよかったら、
下にもおひねり…
投げてくださいなね♡」

♡ち♡
♡か♡
♡♡

『あ、はひゅー』

（遠目に眺めるだけだった
あの美人シンスターが…
チ、チンポにキスを…）

むにゅ：〜



ぬげ!!

フッ

ぬげ!!

脱げ!!

フリ

(上には踊り子...
下にはシスター...)

(お、俺はどっちを
見れば...)

「あっ...ぞ、そんなに
キスばかり...!」

ちゅ

ちゅ

ちゅ

むにゅ

（お、踊りになんて全然
目が行かないっ…）

（シスターに「こんな」と
されたりっ…）

「…目が
合っちゃいますね♡」

「でも、
踊りも見た方が
きっと気持ちいいですよ♡」

「ほら、そろそろ…」

♡ちゅ♡
♡ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

むにゅ：〜



ハオオオオ-!!

ふんっ

いっぞー!!

「……」

ハアアッ!!!

フリ

（おちんちん…
ビクッてなった…）

（上も脱いで盛り上がり
始めてるみたいだし…）

（それに合わせて…）

ちゅ

ちゅ

ちゅ

むにゅ：〜

「れるれるれるる♡」

「おおっ…
う、裏筋っ…!」

（腰が震えてる…♡
やっぱり男の人はこれが
気持ちいいのね…♡）

れ

れ

れ

むにゅ

(…あ、また私の方じっと見てる…)

「…いっせー…
やばっ…」

(気持ちよさそう…
もう射精しちゃいそう
なのかも…)

(…でも、時間いっぱい
サービスするって
言っちゃったし…)

るるるる

るるるる

るるるる

るるるる

むにゅ

「はむっ…♡」

「…今度は
啜えてっ…!?!」

（…ちやってい…
おちんちんの
さきっぽだけを…）

はむっ

むにゅ：〜

「おっ……
おおおっ……!!!」

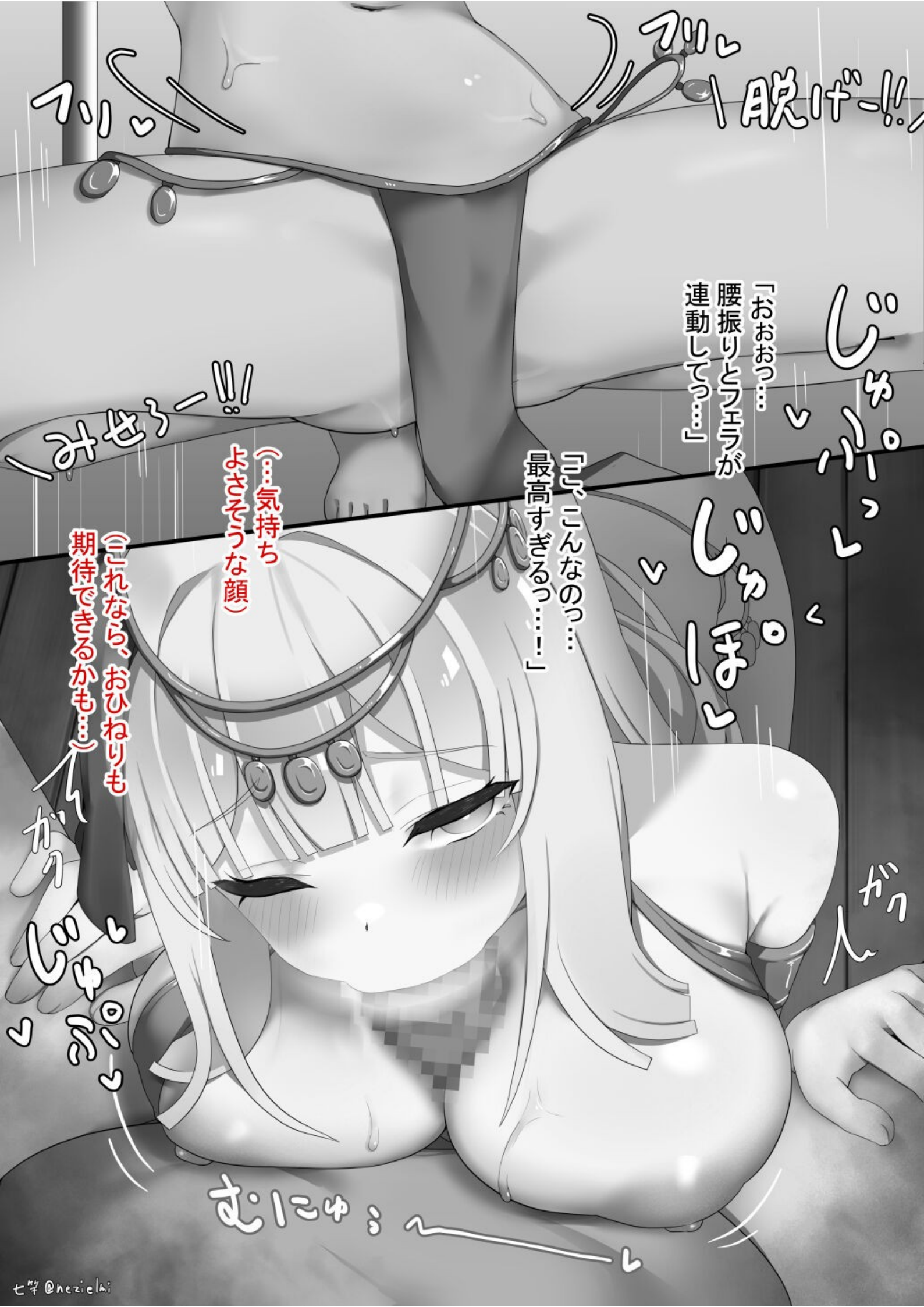
(気持ちよく
なりすぎないぐらいに
加減して……♡)

(先っぽだけを刺激して
射精しないまま
じわじわと高めていって……)

え
る
え
る
え
る

え
る
え
る
え
る

むにゅ



「おおおつ…
腰振りとフェラが
連動してっ…」

じ
か
ぱ
し
く

じ
か
ぱ
し
く

「ア…んなのっ…
最高すぎるっ……」

（…気持ち
よさそうな顔）

（これなら、おひねりも
期待できるかも…）

みせー！！

フッ

脱げー！！

か
つ
し
ん
じ
ん
じ
ん

か
つ

むにゅ

フイッ

フイッ

フアアアア!!

ん...

「ああ...
そんなに
吸いつかれたら...」

じゅわん
じゅわん
じゅわん
じゅわん

いぞー!!

「射、
射精るっ!!」

じゅわん
じゅわん
じゅわん
じゅわん

ゴッ
ゴッ
ゴッ

がッ

むにゅ: ~



フムッ

フムッ

フムッ
フムッ
フムッ

「うっ……」

（お、踊り子のおまんこ
眺めながらっ……
シスターの口内……）

うん……

いざー!!!

「んんっ
んんっ
んんっ」

（せ、贅沢すぎる……
こんな射精っ……）

ビュッ

ビュッ

ビュッ
ビュッ
ビュッ

ビュッ
ビュッ
ビュッ

ビュッ

むにゅ

「ふ……♡
んふ……♡」

「ひもひよはっは
へふは……♡」

「は、はひっ……
最高でしたっ……」

「あ、おひねりっ……
金貨、
金貨出しますね！」

「……♡♡♡」

「……あ、あとっ
入信します!!」

「!!」

むにゅ：〜